

RMCA 「保険リスクマネジメント研究会」発足

7月から活動スタート

代理店に必要不可欠なRM情報提供

NPO法人日本リスクマネジャー&コンサルタント協会(東京都渋谷区、荒木洋二理事長、以下RMCA)は6月12日、東京都中央区のARICEホールディングスグループ(株)A.I.Pセミナールームで保険業界向け新組織「保険リスクマネジメント研究会」発足に関する記者発表会を開催した。同研究会は、保険代理店に必要不可欠なリスクマネジメントに関する情報を提供する組織で、7月から活動を開始する。当日は荒木理事長と松本一成副理事長、奥田雅也理事が発足に至る経緯や活動内容、今後のビジョンなどについて説明した。

同研究会は、界のレベルとステータスの向上をけん引し、魅力的な業界を構築することが目的。PV会員(個人)、CP会員(法人)、SP会員(認定講師資格を保有する社員が在籍する法人)の3種類あり、保険業界に携わっている個人・法人であること、研究会メンバーとしての倫理観と品格を保持し、ルールを守れること、リスクマネジメントを通じた保険の最適活用のために研さんする意欲があることなどが会員要件となっている。

業界のレベルとステータス向上へ

具体的な活動内容は、年4回、東京・名古屋・大阪で定期的に研究会を実施する。保険活用、財務知識、リスクマネジメント、代理店経営、業種別研究、リスク別研究などに

ハウを身に付けるとともに、メンバーが持つ強みや経験値を共有し、相乗効果を発揮することで互いに育み合う組織を目指す。同研究会に入会すると、RMCAが提供する

一環として活用することも可能になる。記者発表会で荒木理事長は、RMCAではリスク

リスクマネジメント講座やリスク診断士、保険関連講座をはじめ、リスク診断ソフトやリスク管理規程、保険管理規程等のひな型といった各種ツールが無料または特別料金で受講・使用できる他、オープンセミナー(CP会員は2人、SP会員は3人まで無料)などにも参加できるようにする。

また、RMCAが持つさまざまなネットワークやNPO法人という中立的な組織を活用した各地域におけるリスクマネジメント普及啓発に関する協会活動を、営業戦略の

クママネジメントに関する専門人材の育成をミッションに掲げて各種事業を展開していることを説明。その上で、同研究会はリスク診断士や保険業界に関わるリスクマネジメントの普及を担うべく、保険代理店に必要不可欠なリスクマネジメントに関する情報を提供する組織として立ち上げた

と述べた。また、松本副理事長は、RMCA会員の半数近くが保険業界関係者だとし、リスクマネジメントの視点から業界のレベル向上をけん引するメン

記者発表会ではこの他、RMCAの資格制度を変更することを明らかにした。NPO法人全日本保険FP協会の業務や一般社団法人FP塾の理念を継承し、RMCAの講座として、7月から新たに財務基礎講座(財務FP)、保険RM講座(法人M講座(法人保険アドバイザー)、法人生保講座(法人保険マイスター)の資格講座を運営する。



奥田理事



松本副理事長



荒木理事長